

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公表番号】特表2019-504877(P2019-504877A)

【公表日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-007

【出願番号】特願2018-553042(P2018-553042)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/59	(2017.01)
A 6 1 K	47/60	(2017.01)
A 6 1 K	47/69	(2017.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
C 1 2 N	11/06	(2006.01)
C 1 2 N	11/08	(2020.01)
C 1 2 N	11/04	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	5/0783	(2010.01)

【F I】

A 6 1 K	39/00	Z N A G
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	19/06	

A 6 1 P	5/00
A 6 1 P	7/06
A 6 1 P	7/04
A 6 1 K	47/59
A 6 1 K	47/60
A 6 1 K	47/69
A 6 1 K	47/32
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/02
A 6 1 K	9/10
A 6 1 K	9/14
C 1 2 N	11/06
C 1 2 N	11/08
C 1 2 N	11/04
C 0 7 K	14/47
C 1 2 N	5/0783

**【手続補正書】**

【提出日】令和1年12月20日(2019.12.20)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

負のゼータ電位を有する担体粒子に共有結合した1又は複数の抗原を含む組成物であって、前記1又は複数の抗原が前記粒子中に封入されている、組成物。

**【請求項2】**

前記1又は複数の抗原が、前記担体粒子の内部表面に共有結合している、請求項1に記載の組成物。

**【請求項3】**

前記粒子のゼータ電位が約-100mV未満である、請求項1又は2に記載の組成物。

**【請求項4】**

前記粒子が約50:50、80:20から約100:0のモル比を有するポリマー又はコポリマーを含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項5】**

前記粒子が、ポリスチレン粒子、カルボキシル化ポリスチレン粒子、PLURONIC(登録商標)安定化ポリプロピレンスルフィド粒子、ポロキサマー安定化担体粒子、又はポリ(乳酸-*co*-グリコール酸)粒子を含む、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項6】**

前記粒子が約0.1μmから約10μmの間の平均直径を有する、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項7】**

前記1又は複数の抗原が、自己免疫抗原、対象に移植される組織上に発現される抗原、酵素置換療法のための酵素、タンパク質療法、又はアレルゲンを含む、請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項8】**

前記1又は複数の抗原が、前記担体粒子に直接的に共有結合している、請求項1から7

のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

対象において抗原特異的寛容を誘導する方法に使用するための、負のゼータ電位を有する担体粒子に共有結合した1又は複数の抗原を含む有効量の組成物であって、前記1又は複数の抗原が前記粒子中に封入されている、組成物。

【請求項 10】

前記疾患又は状態が、自己免疫疾患、リソソーム蓄積症、酵素欠損、炎症性疾患、アレルギー、移植拒絶、及び高度免疫応答からなる群から選択される、請求項9に記載の組成物。

【請求項 11】

前記担体粒子が、ポリスチレン粒子、カルボキシル化ポリスチレン粒子、PLURONIC (登録商標) 安定化ポリプロピレンスルフィド粒子、ポロキサマー安定化担体粒子、又はポリ(乳酸-*co*-グリコール酸)粒子を含む、請求項9又は10に記載の組成物。

【請求項 12】

当該組成物が静脈内投与される、請求項9から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

調節性T細胞を誘導する方法であって、前記T細胞を、請求項1に記載の組成物の有効量を用いて処理することを含む、方法に使用され、粒径が80nmより大きい、請求項1に記載の組成物。

【請求項 14】

負のゼータ電位を有する寛容化免疫改変粒子(TIMP)の調製のための方法であって、a) 1又は複数の担体ポリマーを、1又は複数の抗原と共有結合で連結して、担体ポリマー-抗原コンジュゲートを形成することと、

b) 前記担体ポリマー-抗原コンジュゲートを、TIMPを形成するのに有効な条件下で溶液と接触させることと、

を含み、

負のゼータ電位を有する前記TIMPが形成され、前記1又は複数の抗原が前記TIMP中に封入される、

方法。

【請求項 15】

前記粒子が、ポリスチレン粒子、カルボキシル化ポリスチレン粒子、PLURONIC (登録商標) 安定化ポリプロピレンスルフィド粒子、ポロキサマー安定化担体粒子、又はポリ(乳酸-*co*-グリコール酸)粒子を含む、請求項14に記載の方法。

【請求項 16】

前記担体ポリマーが、共重合によって形成される、請求項14又は15に記載の方法。